

具体的な指導展開例

T: 「かずのせん」をみて、分かったことをおとなりの人と話し合ひましょう。(ペア学習)

T: では、どんなことに気が付いたか、話し合ったことを発表しましょう。

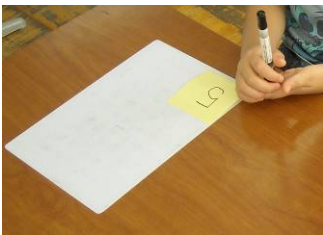
C: 「0からはじまっています。」
「まっすぐな線なので見やすいです。」
「数が順にならんでいます。」
「数と数の間が同じです。」

T: なるほど。たくさんの方に気が付きましたね。ほかにありませんか。

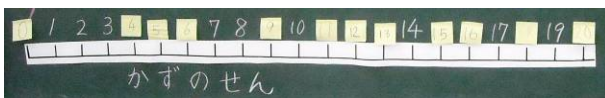
C: 「右へ行くほど大きい数になっています。」

T: そうですね。
(板書で確認しながら) 「かずのせん」の右へ行くほど数は大きくなっていますね。
では、自動車の絵の口にはどんな数が入るか、考えて入れましょう。

教材・教具



じゃんけんすごろくでとまった目の数を、付箋に書かせた。



「かずのせん」の掲示

板書例

0より大きいかず ① じゃんけんすごろくをしよう。

かずのせんをみてわかること

- まっすぐなせん (ながいせん)
- すうじ (0 から 20 まで)
- ひだりから みぎに大きくなる。
- 0 から はじまる。

P56 ②

P57

③

評価の工夫

じゃんけんすごろくをしている際の児童のつぶやき、コマの動かし方、数直線上に数を当てはめる学習活動の中で児童が置いた数の位置や発言から、数の順序性や系列を意識して考えているかを評価する。

〈評価規準〉

- 前後の数字の順序性や数系列から、空いているところの見つけ方を考えている。(数学的な考え方)
- 20 までの数の系列を理解している。(知識・理解)

〈十分満足できると判断される状況〉

- 前後の数字の順序性や数系列から、空いているところの数字の見つけ方を説明している。
- 大小関係を意識して20までの数の系列を理解している。

〈努力を要する状況への手立て〉

既習事項である10までの数の系列を想起させたり、半具体物を活用したりして、20までの数も1ずつ増えたり減ったりしていることに気付かせる。

児童の学習活動



〈じゃんけんすごろく〉
遊びを通して、20までの数の順序性や、大小関係に着目する。



〈数直線 (かずのせん) 〉
児童それぞれ、付箋に書いた自分の数字を、「かずのせん」に当てはめていく。

本時の流れへ

単元の流れへ

評価問題

HOME